

世界初の都市版 SDGs レポートを発表 ～「国連ハイレベル政治フォーラム 2018」にて 国内 3 自治体の SDGs 先進事例を発信～

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)は、米国・ニューヨークで開催されている「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム 2018(HLPF2018、会期:7月9～18日)」にて、現地時間7月16日に世界初となる都市版 SDGs レポート「持続可能な開発目標(SDGs)レポート 2018」を発表しました。

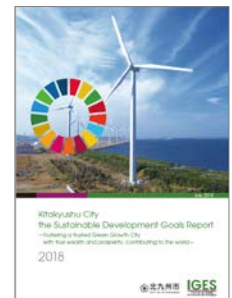
本レポートは IGES と、日本政府から「SDGs 未来都市」に選ばれた北九州市、富山市、北海道下川町の3自治体がそれぞれ協働で作成しました。国連が定める国家主導の自発的報告「Voluntary National Review」のガイドラインに沿った構成で、各都市の歴史や地域特性を踏まえながら SDGs を政策のビジョンや計画に取り込むことで、SDGs の実施を加速している事例を紹介しており、国内外の自治体の参考例となることが期待されています。

また、北橋健治北九州市長は、現地時間7月16日に開催された HLPF2018 でのスペシャルイベント「都市・地域首長フォーラム」に登壇され、市の取り組みや本レポートについて紹介されました。

3自治体のレポートはこちらからご覧ください >> <https://www.iges.or.jp/jp/sdgs/report.html>

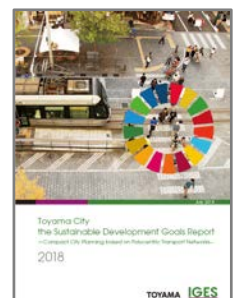
【北九州市 「北九州市 持続可能な開発目標(SDGs)レポート 2018」のサマリー】

- ・2017年12月、日本政府の SDGs 推進本部が主催する「第1回ジャパン SDGs アワード」でパートナーシップ賞(特別賞)を受賞
- ・2004年策定の「環境首都グランド・デザイン」において、既に、統合性・包摂性・透明性やバックキャストング・アプローチの要素を先取りし、SDGsと親和性の高い施策を推進
- ・市民、大学、企業、行政等の垣根を越えたパートナーシップによる公害克服の経験によって培われた「市民力」や技術・ノウハウを基盤に、地域課題の解決のみならず、アジア諸都市の低炭素化、持続可能な都市づくりに貢献



【富山市 「富山市の持続可能な開発目標(SDGs)レポート 2018」のサマリー】

- ・公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりにより持続可能な都市を実現
- ・「技術ノウハウの国際展開」「プロジェクトのパッケージ輸出」「政策輸出」により海外都市との連携を深化させ、国際的な SDGs の実施推進に貢献
- ・ロックフェラー財団から「100のレジリエント・シティ」(100RC)に日本で初めて選出されるなど、国際的にも、その取り組みが認知されている



【北海道下川町 「しもかわ持続可能な開発目標(SDGs)レポート 2018」のサマリー】

- ・2017年12月、日本政府のSDGs推進本部が主催する「第1回ジャパンSDGsアワード」で内閣総理大臣賞を受賞
- ・循環型森林経営を基盤としつつ、経済・社会・環境の三側面の価値創造、統合的解決による持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みを推進
- ・2018年4月に、SDGsの考え方や目標を指針に住民主体で作る町の2030年のビジョン「2030年における下川のありたい姿～人と自然を未来につなぐ『しもかわチャレンジ』」を発表



公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)について

IGESは、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO等と連携しながら、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998年、日本政府及び神奈川県との支援により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約100名の研究者を擁し、その約3分の1が外国籍。関西(兵庫県)、北九州、北京、バンコク、東京の各センター・事務所と共に、グローバル及びアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) <http://www.iges.or.jp/>

広報担当：庄(しょう)/香取(かとり) Tel: 046-855-3845 Email: iges_pr@iges.or.jp